

第5回協議会以降のバイオマス発電所の経過について

【バイオマス発電所の現状】

- 発電事業者からは、3月にプラントメーカーによる設備の点検を実施した後、その結果を踏まえ、設備の引き渡しを受ける状態であれば本格稼働になると報告を受けていた。
- 点検の結果、発電事業者においては、依然として燃焼負荷が100%に至っていない状態であることから、設備の引き渡しを受けずに90%の状態を試運転を継続するとの報告を受けた。
- 次の設備点検は7月～8月ごろ行う予定であると発電事業者から報告を受けた。
- 発電事業者では、本格稼働する場合、地域住民への説明会を開催すると報告を受けている。
- 第5回協議会から現在に至るまで、当該発電所での事故等の発生はない。
- 市では、現在、週に1回、排水・臭気・騒音・燃料等飛散状況を測定器等による定期調査を始め、周辺環境の状況把握を強化しており、改善が必要と認められる件については、発電業者に改善を求めてきた。

【市による定期調査の状況】

- 調査項目：排水、騒音・振動、臭気、地下水、燃料、焼却灰
- 調査日：2/5、2/17、2/18～2/20、2/25、3/3、3/30、4/6、4/13、4/15、4/20
4/28、5/7、5/13、5/19
- 調査結果
 - ◇排水
目視による確認の結果、いずれの場合においても無色・透明であった。（別紙1）

◇騒音、振動

測定器で調査した結果は下記のとおりで規制基準値 70 デシベル以下であった。

調査月日・時間	測定値
3月30日 午前10時	32～49 デシベル
4月6日 午前10時	41～52 デシベル
4月13日 午前9時	39～56 デシベル
4月20日 午前10時	42～52 デシベル
4月28日 午前10時10分	38～52 デシベル
5月7日 午前10時40分	39～48 デシベル
5月13日 午前10時30分	42～48 デシベル
5月19日 午後1時30分	44～49 デシベル

◇臭気

測定器で調査した結果、いずれも値は「ゼロ」で規制基準値 18 以下であった。（別紙2）

◇地下水

【令和7年度やながわ工業団地既存井戸調査結果】※市商工観光課 HP より抜粋
調査期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

調査方法

バイオマス発電所付近の既存井戸(4 ヲ所)に自記水位計を設置し、連続的に地下水位の観測を行い、調査地の水位変動状況を把握した。※井戸内に設置したセンサーにより地下水位面を測定し、10 分毎に水位測定を行った。

調査結果概要

専門事業者による考察を含めた調査結果については以下のとおり。

令和 7 年度は、1 つの井戸にて最大で 20cm 程度の水位低下が確認されたが、地下水流入量(回復量)に大きな変化が無いことや、水位低下幅に対し井戸深度に余裕があることから、井戸使用(灌水)に関して影響はないと判断される。

また、もう 1 つの井戸では、「1 日の水位差」に増加が見られる時期があるが、1 つの井戸の水位低下時期や低下量との関連性が低い。このことから、「ボイラー試験稼働」に伴う揚水により、井戸への流入量が若干減少した可能性はあるものの、季節変動による地下水位の全体的な低下や揚水量の増加等、他の原因が考えられる。

以上の状況より、揚水量等の条件が大きく変わらなければ、バイオマス発電所からの揚水により既存井戸が影響を受ける可能性は低いと考えられる。

ただし、現在までの観測結果では、バイオマス発電所本稼働に伴う揚水による地下水状況を確認できないため、バイオマス発電所による地下水への影響の有無について判断は難しい。なお、バイオマス発電所本稼働時の揚水状況について未確認であること、多量の揚水を連続的に長期間行うことによる水位状況の挙動について不明確な部分があることなどから、バイオマス発電所本稼働から 1 年間程度(季節による水位変動が把握できるまで)は既存井戸の地下水位観測を行うことが望ましい。

水位変動及び降水量グラフ(別紙3)

周辺住民から3月～4月にかけて、当該発電所の地下水揚水に伴う農業用水の減少や地盤沈下について市民等からの相談を受け、市職員で現地確認を行ったが、事業者の揚水が原因と特定できるものではなかった。

◇燃料、焼却灰

(燃料飛散)目視により確認した結果、周辺環境に支障をきたすような状況は確認されなかった。

(焼却灰)発電所周辺と梁川認定こども園周辺の設置物への付着がないかを確認しているが、焼却灰と思われる付着物は確認されなかった。

◇大気 放射能

発電事業者に新たな測定結果があれば提出するよう報告を求めている。

【深井戸の掘削について】

●発電事業者では、事業用水確保のため、敷地内で深井戸を設置したいので試掘調査を5月18日から実施すると報告を受けた。

●発電時事業者には、井戸を設置する場合には、事前に「伊達市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」第9条第2項に基づき、住民等に対し、事業内容等の変更に関する説明会を開催すること、及び同条例第10条第3項に基づき、変更の届出を行うように伝えた。

●発電事業者では、試掘、揚水試験を実施したデータを分析したうえで、地域住民等への説明会を開催する予定であると報告を受けた。

【今後の対応】

●引き続き、定期調査を継続して、異常が認められる場合には、法令等に基づいた調査等を行うとともに、国や県へとも連携を図り、事業者に対して、早急の改善と安全な操業を求めていく。



確認写真

東側水路(2/5)



確認写真

東側水路(2/19)



確認写真

東側水路(2/20)



確認写真

東側水路(3/30)



確認写真

東側水路(4/6)



確認写真

東側水路(4/13)



確認写真

東側水路(4/20)



確認写真

東側水路(4/28)



確認写真

東側水路(5/7)



確認写真

東側水路(5/13)



確認写真

東側水路(5/19)

日時	令和8年2月17日（火曜日）午前10時13分～午前10時20分						
気温	4.6℃	湿度	45%	風向	西北西	風速	3.7m/ s
天気	くもり	測定者		佐藤環境係長、大河主任主事			

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所③(平河ヒューテック正門側)



日時	令和8年2月17日（火曜日）午後4時05分～午後4時20分						
気温	6.3℃	湿度	48%	風向	東北東	風速	4.0m/ s
天気	晴れ	測定者		佐藤環境係長、大河主任主事			

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③（平河ヒューテック正門付近）



日時	令和8年2月18日（水曜日）午前10時20分～午前10時35分						
気温	5.8℃	湿度	56%	風向	南西	風速	1.2m/ s
天気	晴れ	測定者		佐藤環境係長、大河主任主事			

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③（平河ヒューテック正門付近）

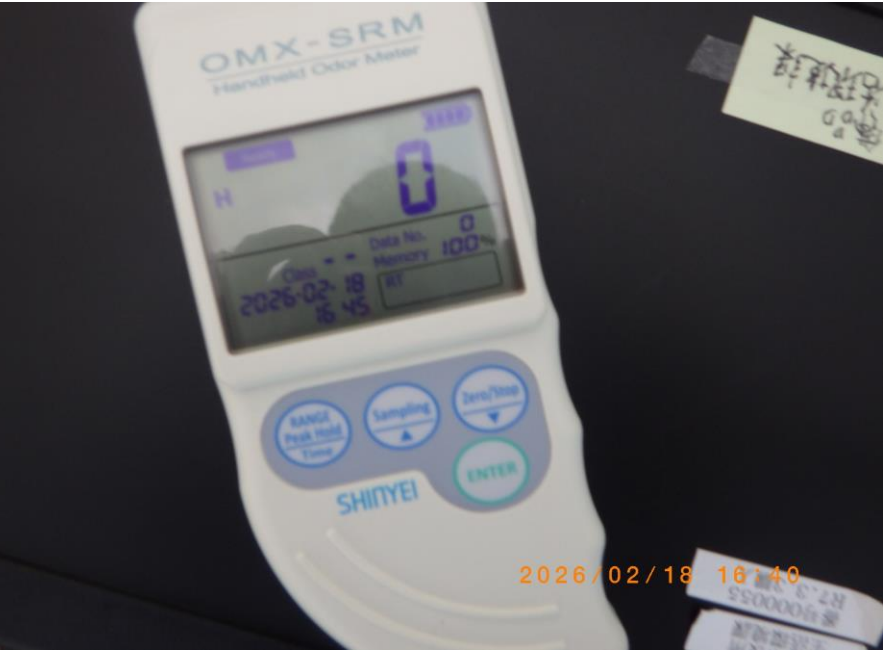


日時	令和8年2月18日（水曜日）午後4時30分～午後4時45分						
気温	10.0℃	湿度	31%	風向	西	風速	6.1m/ s
天気	くもり	測定者	佐藤環境係長、大河主任主事				

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）

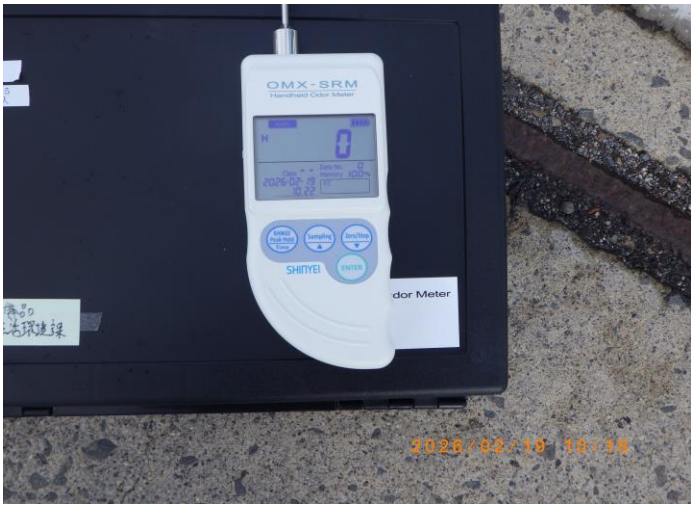


測定場所③（平河ヒューテック正門付近）



日時	令和8年2月19日（木曜日）午前10時10分～午前10時25分				
気温	3.0℃	湿度	56%	風向	西
				風速	5.7m/S
天気	くもり	測定者	佐藤環境係長、大河主任主事		

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③（平河ヒューテック正門付近）



日時	令和8年2月19日（木曜日）午後4時30分～午後4時50分				
気温	2.4℃	湿度	52%	風向	西
				風速	3.0m/ s
天気	くもり	測定者	佐藤環境係長、大河主任主事		

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③(平河ヒューテック正門側)

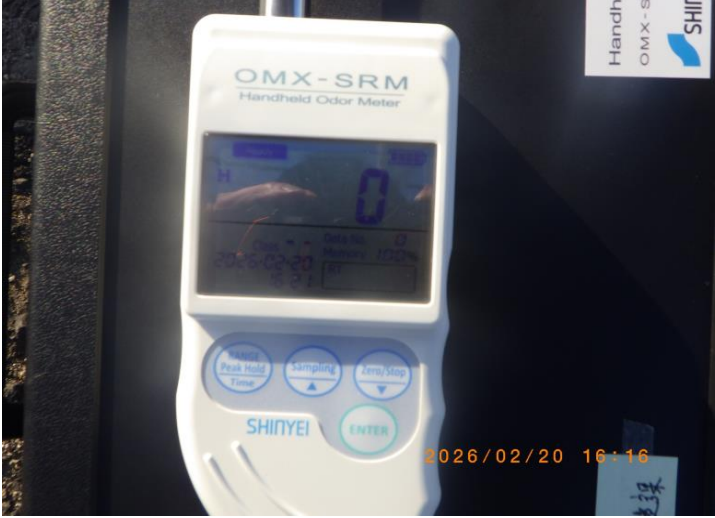


日時	令和8年2月20日（金曜日）午前10時15分～午前10時30分				
気温	5.8℃	湿度	42%	風向	南西
				風速	2.7m/S
天気	晴れ	測定者	佐藤環境係長、大河主任主事		

測定場所①（発電所正門付近）



測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③（平河ヒューテック正門付近）



日時	令和8年2月20日（金曜日）午後4時15分～午後4時25分				
気温	9.5℃	湿度	32%	風向	北東
				風速	3.2m/s
天気	晴れ	測定者	佐藤環境係長、大河主任主事		

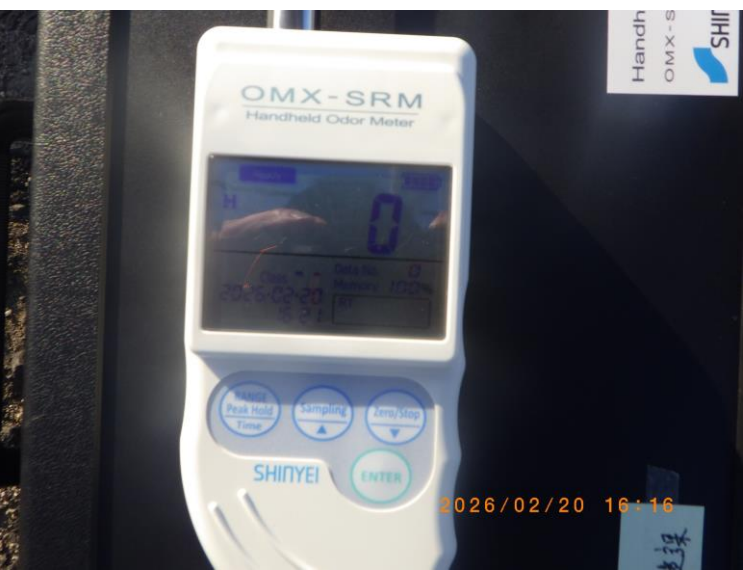
測定場所①（発電所正門付近）

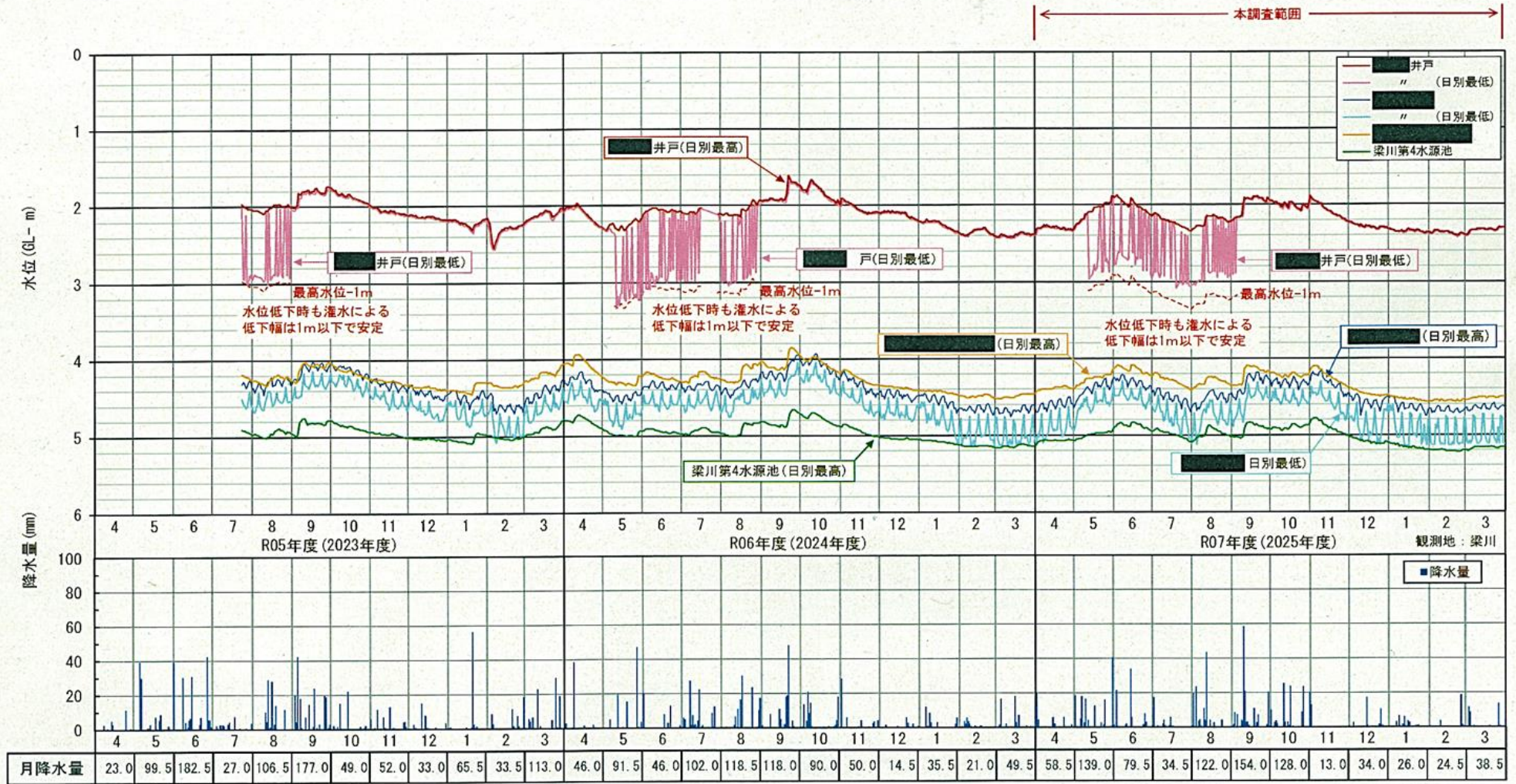


測定場所②（工業団地調整池交差点付近）



測定場所③（平河ヒューテック正門付近）





水位変動図 [日別最高水位・最低水位] (令和5年度～令和7年度)